

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高松ニュース

NO. 1106

16.6.14

6月定例会市議会報告



6月14日(火) 6月定例会市議会開会。午前10時に開会予定でしたが、本会議が始まったのは午後からでした。議長と副議長の改選が行われ、議長は野嶋広三議員、副議長に戸田正人議員(両者とも至政クラブ)。本号は20日(月)3番目に予定されている私、ひめだの一般質問について報告します。

高齢者の総合相談窓口

地域を核とした
援センター

私、ひめだの一般質問の1つめは、高齢者福祉として、一人暮らし高齢者世帯の生活支援について質問します。一人暮らし高齢者の方から入院手術する際の付

き添いについて、別の方から、高額商品の購入契約の解約についての相談がありました。高齢になるに従い、身内や友人が少なくなりますが、そうした方が安心して暮らすためには、身近な相談相手が必要です。高齢者の総合相談窓口として

障害者の居住の場グループホーム

して暮らすためには、身近な相談相手が必要です。高齢者の総合相談窓口として

質問の2つめは、障害者のグループホームについてです。加藤直人さんにグループホームの現状を聞かせてもらいました。施設の立ち上げについて、国庫補助の制度があるものの、予算枠が少ないため使えないとのこと。単体のグループホームで働く人たちはボランティアにもがけた程度の報酬であること。障害者総合支援法が「改正」されグループホームから中重度者が追い出されるおそれがある

市が取り組んでいる地域包括支援センターの現状と課題について質問します。

障害者の暮らしを支えるために頑張っていることを知りました。施設の土地の貸与やグループホーム仕様の建物の貸与、人的支援を市に求めたいと思います。

今週のフツの人々

(その52)

スしぶりに熱が出た

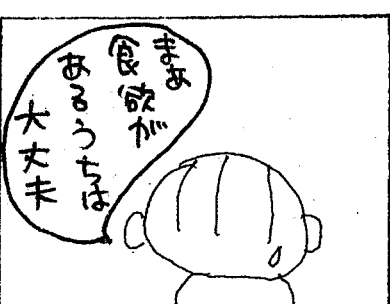
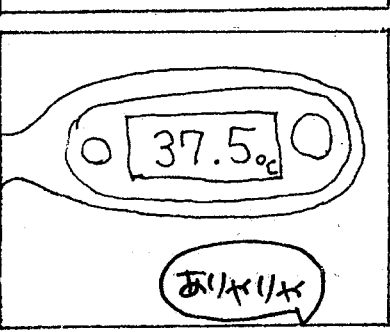
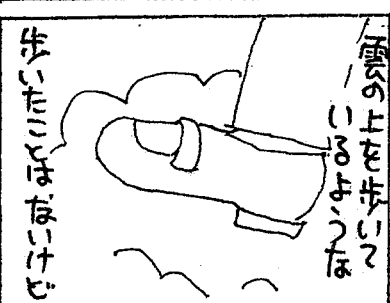
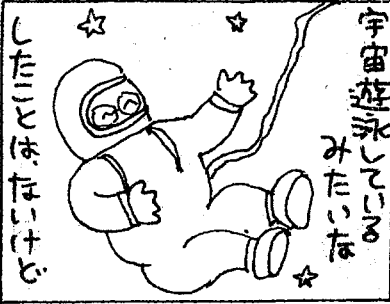
黒柳徹子さんを満島ひかりさんが演じるNHK「トットとれび」で中村獅童さんが若くて元気な渥美清さんを熱演。渥美さんは「丈夫で長持ち」というCMに出ていたが、実際は、結核で右肺を切除するなど、それほど丈夫でなかったという事です。

とは、ほとんどない私がこの2、3日身体がフワフワ浮いているような感じ。夜中のテレビで寝不足のせいかなどと思っていました。ふと熱を測ってみると、ナント7度4分！前に7度を超えたのはいつだったのか。まったく思い出せません。ただ、私自身の体調不良の基準は、①熱があり、②食欲が無いの2点なので、食欲があるうちは、「元気」なのです。



ひめだ高松

フツの人々



地場産で期日前投票でさる

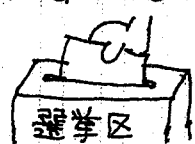
市民の投票環境の向上を図るため、和歌山市は、6月22日公示、7月10日投票の参院選から、既設3か所の期日前投票所（西汀丁・商工会議所、市小路・河北コミュニティセンター、寺内・東部コミュニティセンター）に加え、新たに紀三井寺・地域地場産産業振興センター・直川・さんさんセ

ンター紀の川・布施屋・河南コミュニティセンターの3か所を増設します。また、今回の参院選から有権者に郵送される投票所

入場券の裏面に、期日前投票所が印刷され、事前に記入できるようにあります。書き方は、期日前投票日、名前、生年月日を記入し、投票日当日に投票できない事由をれで囲みます。

参院選は2回投票します

1回め 選挙区選挙
候補者名を書きます



2回め 比例代表選挙
政党名を書きます

※比例名等についている候補者名を書いても可です。



7月9日まで期日前投票ができます。

★投票日の翌日までに18歳以上の投票権があります。住民票のある住所に通知が届きます。

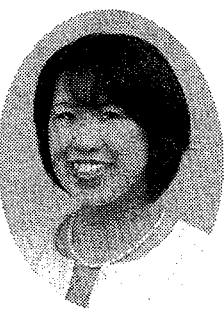
こんには日本共産党

参院選で政治を変えよう

6月22日公示、7月10日投票の参院選選挙がもう間近に迫ってきました。比例の選挙事務所は日本共産党和歌山県委員会（西長町2-33）です。12日に事務所開きを行い、

野党統一候補・ゆら登信さんと、豊田弁護士も駆けつけていただきました。今度の選挙は今までの選挙とは全く違って、市民と野党が力を合わせて「政治を変えよう」と草の根の運動が大きく広がったなかで行われる選挙です。これほど市民が「NO」を突きつけた政権はあったでしょうか。国民の声を聞かない、憲法を

守らない、数の力でなんでも押し通す、こんな政治をこのまま続けさせるわけにはいきません。私たちの手で政治を変えましょう。ゆら登信さんを国会に送りましょう。私も全力で頑張ります。



坂口99美子 (参院比例区)

潮流

16.6.12日刊「赤旗」号外を配っていたら、街の一角で梅雨を告げる夕チアオイが大輪を競っていました。白に薄紅、紫や赤。大地からまっすぐに茎を伸ばし、大振りの花を咲かせる姿から大望という花言葉もあります。▼自分たちの手で政治や社会を動かしていく。そんな大望をもった市民団体や個人が手を携え、立ち上がったのは半年ほど前でした。「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」。2000万署名の推進とともに野党統一のうねりをつくりました。▼参院選を前に

倍首相の執念深い憲法改悪にも反対。これまで2回の国政選挙では自らの経済政策を前面に掲げながら、その後には秘密法や戦争法を強行してきました。今度の自民党の選挙公約でも「憲法改正」は最後に自決しないよう、そして▼三度くり返す、まやかしの二つの顔。それによって彼らに多数を与え、これにすれば憲法改悪は現実の問題になってしまう。まさに戦後日本の分岐点です。▼市民連合の一員でもある中野晃一さんは、いま大事なものは「分断」せず、あきらめないことだ。日本共産党の志位委員長も参院選政策を発表した場で訴えました。「野党と市民が力を合わせれば政治を変える道はある。そういう希望を大いに語ってきたい」

野党は結束。市民連合の要望も取り入れた交通政策は、個人の尊厳や暮らしにかかわる問題から辺野古の新基地建設、TPP合意にみられる安倍政権の強権政治を転換することまで豊かに発展しています。▼もちろん安

いからなにことがゆるしんぐん
日刊 赤旗 3497日/月